

# 「個人向け国債」なら、安心・確実、しかもお手軽。

## 元本割れがないので、安全・安心!

満期時の元本のお返しも、半年毎の利子の支払いも、国が責任を持って行います。また、経済環境等により実勢金利が変動しても、元本部分の価格は変動しないので、安全・安心です。



## 個人向け国債は、満期が3年・5年・10年の3コース!

個人向け国債は、半年毎に利率が変わる変動金利型の「変動10年」と、発行時の利率が満期まで変わらない固定金利型の「固定5年」「固定3年」の3タイプが、毎月発行されています。

＼毎月発行／



## きっちり、0.05% (年率) の最低金利保証!

3コースとも、経済環境等により実勢金利が下落した場合においても、年率0.05%の最低金利を保証します。

## お金のあるときに、月々1万円からOK!

購入は、月々1万円から。証券会社や銀行などの金融機関に口座を開いて申し込むだけで購入できます。

## もしものときも、中途換金は1万円から!

すべての商品で、発行後1年を経過した時点から、額面1万円単位での中途換金が可能です。

※直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれます。

## ペーパーレスで、盗難・紛失の心配なし!

券面が発行されないペーパーレスなので、証券が盗難にあったり、紛失してしまう心配がありません。

### 今後の発行スケジュール (平成29年12月現在)

	変動10	固定5	固定3	募集期間	発行日
12月募集債	第93回債	第81回債	第91回債	平成29年12月7日～29日	平成30年1月15日
1月募集債	第94回債	第82回債	第92回債	平成30年1月12日～31日	平成30年2月15日

わかりやすいパンフレットもご用意しています。



※ご購入の際には、購入代金、印鑑、本人確認書類(免許証など)、マイナンバーが記載されている書類などが必要です。※国債の利子は、受取時に20.315%分の税金が差し引かれます。ただし「障害者などの非課税貯蓄制度(いわゆるマル優、特別マル優)」の適用を受け、非課税とすることができます。この制度については、税務署などにお問い合わせください。

その日のために、このさい国債。

## 安心、しかもお手軽。個人向け国債

JAPANESE GOVERNMENT BONDS

— 国債で備える、ライフイベントのいろいろ —

詳しくは特設サイトで! [このさい国債](#) 検索

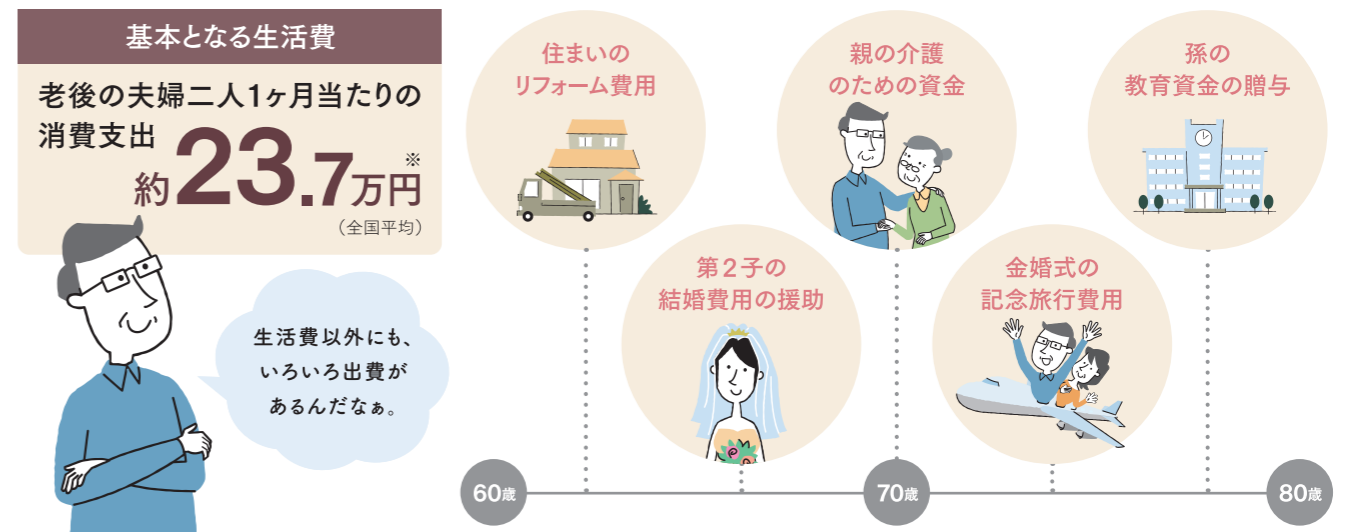
個人向け国債お知らせメール  
個人向け国債に関する情報を電子メールにて配信するサービスです。登録方法などは財務省ホームページをご覧ください。

# 退職金の有効活用を考えたら、

# その日のために、このさい国債。

今や、人生100年時代。定年退職後も、月々の生活費とは別に、さまざまなライフイベントに伴うまとまった出費が想定されます。そこでおすすめしたいのが、退職金を活用した「個人向け国債」。必要なタイミングで、必要な額を、安心・確実に準備できます。

## 想定される60歳以降のライフイベント (Aさんの場合)



※出典: 総務省統計局ホームページ (http://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/nen/)

定年退職は、人生の大きな節目。しかし、人生100年という言葉が大袈裟ではなくなったこの時代、自分や家族に関わるライフイベントは、これからいくつも待ち受けています。その一方で、入ってくるお金よりも出ていくお金のほうが多くなるのが、これからの家計の現実。大きな出費に備えたマネープランは必須です。

そこで頼りになるのが、退職金。多くの人にとって人生で手にする最も大きな金額である退職金なら、これから想定されるライフイベントのタイミングに合わせて、必要な資金を計画的に振り分けて準備することが可能はずです。

その際、ぜひおすすめしたいのが「個人向け国債」。お金が必要になる時期に合わせて、たとえば近々予定される住まいのリフォーム費用として「固定3年」、下の子の結婚費用の援助資金として「固定5年」、その先の親の介護の費用として「変動10年」などと、3つのコースからお選びいただけます。

以上は、退職金を一時金として一括で受け取った場合

の「個人向け国債」の活用方法ですが、中には退職金を年金方式で受け取る方もいらっしゃるでしょう。その場合も、「個人向け国債」なら最低1万円から毎月購入できるの、主に生活費の補填の視点から、積立感覚で将来に備えることもできます。いずれにしても、退職金の運用については、安全性が原則であることは言うまでもありません。元本割れがなく、年率0.05%の最低金利が保証された「個人向け国債」なら、その点でも安心。また、市場の金利が反映される「変動10年」なら、今後の市場金利の上昇に伴って金利が上がる可能性が期待できます。可愛いお孫さんへの誕生日プレゼントを奮発したり、趣味にかけるお金の額を増やしたりといった楽しみが味わえるかもしれません。



コクサイ先生